

地域活動の自己評価 ワークショップの内容

令和2年
3月発行

発行：坂井輪中学校区まちづくり協議会（坂井輪中学校区まちづくりセンター）

加速する人口減少...
この先どうなる？
坂井輪はどうする？



新潟市の地域コミュニティ育成事業モデル地区として
活動の評価に取組み、より良い運営を目指しています

少子高齢化や人口減少が加速する中で、地域活動の担い手が不足するなど課題が多様化しています。坂井輪中学校区まちづくり協議会では、坂井輪地区が新潟市地域コミュニティ育成事業のモデル地区に選定されたことを受け、持続可能で効果的な課題解決を行う地域づくりを目指し、新潟市やNPOと共に学び、活動の評価を行いました。取組みの様子をご紹介します。



第1回「地域活動の自己評価ワークショップ」には約41名の地域の方々が集結
(1月18日坂井輪健康センター3Fにて)



NPO法人まちづくり学校による解説の後、実績評価シートを使った事業の見直し方を学びました。

「担い手が育たない」
「何をしたらいいかわからない…」
市内全域のコミ協が抱える課題 解決の糸口になる！

坂中まち協は大規模です。活動の検証はまち協全体で取り組むことが大切で、情報を共有することで地域課題へ向けた気づきがあると考えています。ワークショップには大変多くの方々にご参加いただきました。持続可能な活動をどう構築していくか一緒に考えましょう。



坂井輪中学校区
まちづくり協議会
梶原 宜 会長

地域コミュニティ育成事業

坂井輪中学校区
まちづくり協議会
モデル事業の
実施内容と
今後の予定



人口データ(地域
カルテ&国勢調査)から
地域の現状と予測される
将来の姿を知る

第1回ワークショップ

予測される将来に向けて、
これまでの活動の見直し方
を学ぶ

実績評価
シートの作成

地域活動を事業ごと
に、かけている時間
や人数、成果などを
評価してシートに
記入します。

第2回ワークショップ

活動実績評価シートを元に、
まち協の活動内容や課題を共有。
各活動の発表を聞いて感想や
提案を共有

坂井輪まち協で
次年度の事業案を検討



裏面もご覧ください▶

活動実績を部会ごとに自己評価して全体共有。 たくさんの気づきが課題解決につながる!

坂中まち協の活動は多彩で活発です。しかし、今できている活動を、今後引き継ぐ方が同じようにできるとは限りません。これまでの事業の目標や成果を「活動実績評価シート」を使って評価し、発表と意見交換を行いました。担い手発掘や負担軽減の手がかりがいくつも挙がりました。

1 活動実績評価シートをもとに各部会が活動発表

目的や成果などを明確にしながら部会ごとに1つの事業(活動)に絞って発表。参加者は付箋に質問や意見を書き、貼り出しました。



2 グループで意見交換 部会ごとに改めて意見交換を行い、課題解決策などを探りました。

9部会の活動発表 ～寄せられた付箋のコメントと意見交換した内容のまとめ(抜粋・要約)



連合自治部

「広報誌 大道 発行」

昭和48年から79号も発行しているのはすごい

子どもや一般住民の声を掲載したら良いと思う

「大道」と「さかい輪かわら版」の一本化を検討したい

広報部

「さかい輪かわら版 発行」

まちづくり事業、活動がよく分かる広報だと思っている

WEB、SNS、インスタなどの活用で細かく発信できる

高齢の方には紙面も必要

防火防犯部

「坂井輪レスキュージュニア講座」

早くからの意識づけは大いに良い

小中学校との連携が弱い・3校連携を

防災訓練の一部として炊き出し訓練を取り入れた方が良い

福祉部「三者合同研修会」

ケアシステムの事業・活動が理解できた

他地域にも知られる良い事業

いい研修ですが4回目になると…研修内容を再検討

防犯交通安全部

「防犯ボランティア活動」

暑い中、寒い中、地道な活動に感謝

高齢化が問題のようだが、気軽に短期間参加できるようにして地域全員が協力しては

生活環境部「坂井輪を花で飾ろう」

地域が花で彩られ、とても良いと思います

水やり延35回:人手必要。近隣自治会に根気よく案内を出していく

他部からの協力も検討していきたい

文化スポーツ部「さかい輪健康づくり教室」

ぜひ参加したい。参加費をとってもいいのでは

他の健康教室との連携は?

参加者アンケートをとっているのはすばらしい

子ども部「あいさつ運動」

子どもと共に大人達も挨拶してくれるようになった

期間中は挨拶してくれるが普通はなかなか返ってこない

あいさつ取組みチェックシートを活用し、各家庭で話をしてもらうのどうか

女性支援隊「女性活動ネットワークづくり支援」

炊き出し出前講座、素晴らしいです

運営人数4人がオドロキです。運営側の負担が心配...

大学生との協働活動を継続していきたい

参加者のふりかえり (抜粋・要約)

学んだこと・良かったこと・残念だったことなど

- まち協全体の動き、各事業成果等が良く理解できた
- 他部からの質問・助言・感想が良かった。それぞれの立場からみるのは参考になる
- 活動実績評価シートに基づき整理し、来年度の活動に活かしたい
- 見直しはできるがなかなか新しい事業は始められない
- 活動目的は大切な理念である。議論に時間をかけても良いと思う
- 成果が先にくると参加者も減る。楽しくできるようにしたい



今回のワークショップで挙げた声を参考に、次年度計画へ活かしていきます。今後ともご理解・ご参加よろしくお願いたします。尚、坂中まち協モデル事業の取組みは、後日、新潟市のホームページで紹介される予定です。